

おいしさを笑顔に

KIRIN

Smile



Enjoy

ハーモニア

HARMONIA

キリンホールディングス株式会社
第174期 中間株主通信
 2012年1月1日から2012年6月30日まで



代表取締役社長
三宅 占二

収益性向上、売上の反転・拡大に向けて、 ブランド力・営業力の強化と 新たな価値の提案に力を注いでいます。

お客様のニーズに応える
新たな価値ある商品を提案

当第2四半期のわが国経済は、減速状態から脱していない海外経済の影響などによって依然厳しい状況にあるものの、消費者マインドの改善による個人消費の回復もあって、緩やかに持ち直しつつあります。このような状況のなか、キリング

グループでは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015 (KV2015・下図参照)」の実現に向けた第2ステージである「2010-2012年キリンググループ 中期経営計画」の最終年度として、引き続き収益性の向上に注力する一方、売上の反転・拡大を目指して、ブランド力・営業力の強化とお客様への新たな価値の提案に取り組みました。

国内においては、キリンビール社、メルシャン社、キリンビバレッジ社の主要3社が、バリュー

キリン・グループ・ビジョン 2015 (KV2015)

- いつもお客様の近くで様々な「絆」を育み、「食と健康」のよこごびを提供する
- 「発酵・バイオ」「モノづくり」「リサーチ・マーケティング」の技術を総合し、独自の価値と最上の品質を追求する
- 酒類・飲料・医薬を主力事業として、アジア・オセアニアのリーディングカンパニーを目指す

成長へのシナリオ

国内酒類事業の再成長により基盤を強化



- 1 総合飲料グループ戦略の推進
- 2 国際化の推進
- 3 酒類、飲料、医薬に次ぐ健康・機能性食品事業の構築

チェーン全体での構造改革を継続するとともに、総合飲料グループ戦略の下、ブランドを基軸とした経営を一層強化しました。麒麟ビール社では、選択と集中により基盤ブランドの強化を図るのはもちろん、新食感の生ビール商品の導入や新ジャンル商品のリニューアルなど、お客様のニーズに応える新しい価値の創造による売上成長に注力しました。麒麟ビバレッジ社においても、特定保健用食品史上初のコーラ系飲料を発売するなど、新たな価値の創造に取り組みました。また、メルシャン社でもカテゴリNo.1を目指した商品ブランドの育成・強化を図っています。

海外市場での収益性向上に向けて、高付加価値商品のブランド力を強化

海外では、2011年11月に完全子会社化したブラジルのスキンカリオール社が、新経営体制の下、収益拡大と効率性向上のための施策に取り組みました。ブラジル経済は、成長に若干の減速感がみられるものの、個人消費が堅調に推移しています。こうした状況のなか、スキンカリオール社は、基盤ブランドの強化をはじめとする収益性向上に向けたマーケティング・営業活動を推進するとともに、調達プロセスの抜本的改善やバリューチェーンの機能強化などの施策を実行しました。

豪州ではライオン社が酒類・飲料事業ともにブランド力強化を重視したマーケティングを行い、収益性・効率性向上に努めました。酒類事業では、新カテゴリー創出の取り組みや高価格帯への商品構成シフトを継続しました。飲料事業では、引き続き中期的な収益性改善に向けた事業構造改革を進めました。

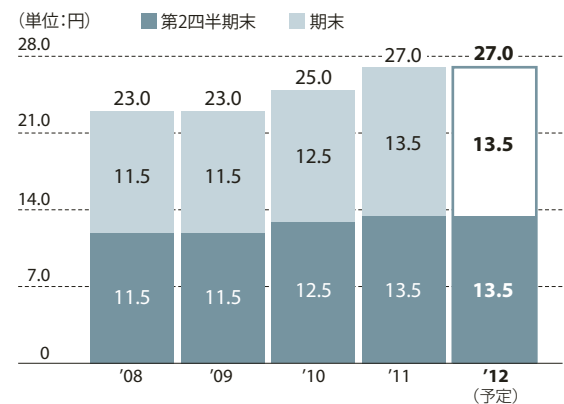
これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.0%増の1兆416億円、営業利益は前年同期比21.4%減の572億円、経常利益は前年同期比31.8%減の494億円、第2四半期純利益は前年同期比26.9%減の131億円となりました。なお、当第2四半期の配当については13.5円としました。年間では27円を予定しています。

当第2四半期の業績と通期業績予想および2015年目標水準

	当第2四半期	前年同期比	2012年業績予想*	2015年目標水準
売上高 (酒税込み)	1兆416億円	4.0%	2兆2,200億円	2兆5,000億円 (酒税抜き)
営業利益 (のれん等償却前)	831億円	△13.1%	2,067億円	—
営業利益 (のれん等償却後)	572億円	△21.4%	1,550億円	2,500億円

※ 各事業の進捗を加味した結果、通期業績予想を修正しております(8月3日に開示)

1株当たり配当金



大人の くつろぎタイム を演出

お客様の嗜好の多様化が進むなか、
KIRINは大人のくつろぎタイムを彩る
新たなお酒と清涼飲料の楽しみ方を
提案しています。



お酒の新しいおいしさ、楽しさを追求



「フランジア・ロック」

キリンビール社は、“麦100%”の
おいしさで支持いただいている「キ
リン一番搾り生ビール」から、生
ビールのまったく新しい飲み方と
して、ビールの泡がシャリッ!と冷
たい“新食感”が楽しめる「一番搾
りフローズン〈生〉」を提案。-5℃で凍結させフ
ローズン状になった泡がフタの役目となり、飲
みごろの冷たさを30分間も保つことのできる、
ビールの新しいおいしさ、楽しさ
を追求して生まれた生ビー
ルです。「一番搾りフロー
ズン〈生〉」のコンセ

「一番搾りフローズン〈生〉」



より **楽** しく



プトショップと
して5月から順次
オープンした期間限定
店「キリン一番搾り FROZEN
GARDEN」(全国6店舗)^{※1}には連日たくさん
のお客様が来店され、これまでにない生ビールの
新食感に高い評価をいただきました。

メルシャン社においても、ワイン販売量世界
No.1^{※2}を誇るカリフォルニアワイン「フランジ
ア」の新しい楽しみ方をホームペ
ージや店頭で提案しています。

ワインに氷という意外な組
み合わせがおいしい「フ
ランジア・ロック」やフ
ルーツを浮かべた「ワ
インカクテル」など、日
常的に楽しめるレシピ
をまとめています。

※1 8月31日までの期間限定店。現在は終了
しています

※2 単一ブランドとして 1997 年から 14 年
連続ワイン販売量世界No1 (IMPACTDATA
BANK2011 EDITION による)



「フランジア」の楽しみ方

<http://www.mercian.co.jp/wine/franzia/cocktail/>

より多くの 人へ

アルコールが苦手な人も楽しめる飲料を拡充

キリンビバレッジ社は、20代後半～30代前半世代において、アルコール飲用頻度が低く、帰宅後もアルコールを飲用してつろぐ機会が減少していること、一方で炭酸飲料の飲用頻度は高く、特に自宅でのくつろぎ

タイムに飲む傾向があるものの、既存の炭酸飲料ではくつろぎのニーズを満たせていないことに着目。そこで、キリングループ独自の技術で米を発酵させることにより実現したやわらかな甘みとやさしい泡の口当たりを楽しめる炭酸飲料「麒麟の泡」を発売しました。アルコールが苦手な人はもちろん、酔わずにくつろぎたい大人に最適な炭酸飲料です。

キリンビール社が2009年に「麒麟

フリー」を発売して以来、拡大が続くノンアルコール市場は、ビールテイストのみならず梅酒やワインなどにも拡がって

り、なかでもRTD^{※3}カテゴリー

で顕著な伸びがみられます。同カテゴリーでは甘めの商品が多くを占める一方、爽快感を期待する潜在ニーズも見込まれることから、「麒麟フリー」で培った香味技術を駆使して、クリアで爽快なお酒気分が楽しめる「麒麟ノンアルコール・チューハイ ゼロハイ シチリア産レモン」を発売しました。ノンアルコール市場のパイオニアとして、これからもより多くのお客様に楽しんでいただける新しい味わいを提案していきます。

※3 Ready to Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料



「麒麟の泡」



「麒麟フリー」



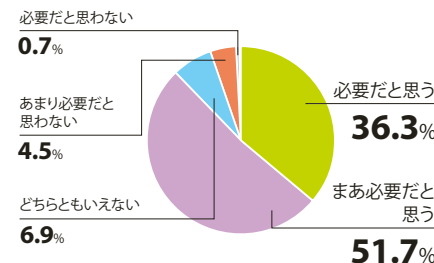
「麒麟ノンアルコール・チューハイ ゼロハイ シチリア産レモン」

「飲みニケーション」は健在

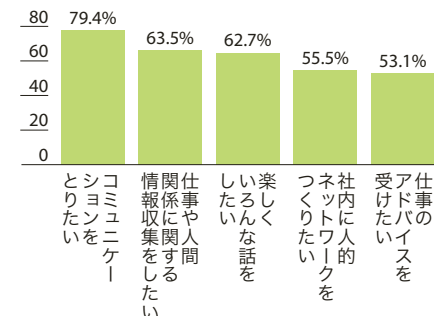
今春の新社会人を対象に行った調査(有効回答305人)によると、会社の人との飲み会は、36.3%が「必要」、51.7%が「まあ必要」と、約9割の人が必要と考えていることがわかりました。飲み会の目的は「コミュニケーションをとりたい」が79.4%でトップですが、「仕事や人間関係に関する情報収集をしたい」63.5%や、「社内に人的ネットワークをつくりたい」55.5%、「仕事のアドバイスを受けたい」53.1%など、仕事に関する話をする場としても「飲みニケーション」の健在ぶりうかがえます。

新社会人における会社の人との飲酒観

会社の人との飲み会は必要だと思いますか？



会社の人との飲み会に期待することは？



出所 麒麟食生活文化研究所レポートvol.34「新社会人の飲酒意識と仕事観」に関する調査
http://www.kirinholdings.co.jp/csr/food-life/research/report/34.html

サッカーを通じて被災地の子どもたちに笑顔

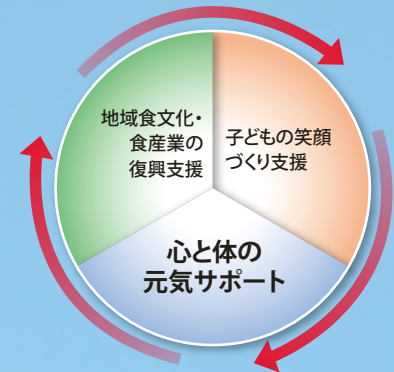
通算開催数が160校(小学生約22,000人参加)を超えた「JFA・キリンスマイルフィールド」*。元サッカー日本代表たちの協力によって、被災地の子どもたちに笑顔の輪が広がっています。

* 2011年9月1日から2012年7月31日まで



「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環として

「復興応援 キリン絆プロジェクト」は、2011年7月に発足以来、グループをあげて継続的に行っている東日本大震災の復興支援活動です。活動の3つの幹(右図)のうち“心と体の元気サポート”の一環として岩手・宮城・福島県の小学校を対象に行っているのが「JFA・キリンスマイルフィールド」。日本サッカー協会の協力の下、元サッカー日本代表がコーチとして被災地を訪れ、サッカーを通じた子どもたちの“心と体の元気サポート”に尽力いただいています。



2012年1月～6月は、絆プロジェクト全体で384,808,182円の活動資金が集まり、これに昨年の活動資金の残り561,106,514円を合わせたものから、3つの幹の活動のために535,003,817円をお支払いしました。

いつでもサッカーを楽しめる機会づくりに貢献

「JFA・キリンスマイルフィールド」は、サッカーを通じて、ひとりでも多くの子どもたちに笑顔になってもらいたいとの思いから始めたプログラムです。サッカーボールやゴールなどの備品は、いつでもサッカーを楽しめる機会づくりに役立ててもらえるように、実施した小学校に寄贈しています。子どもたちの笑顔と元気がコミュニティの元気につながり、ひいては地域全体が活性化していくことを願って活動を続けています。



参加者の声

ゲストコーチ
から

チャレンジ精神を忘れず、
サッカーのもつ力を信じて
頑張してほしい

サッカー日本代表
香川 真司さん



「サッカー日本代表オフィシャルスポンサー」としてご支援いただいているキリングループさんとともに、東日本大震災の復興応援活動に取り組ませていただくことになりました。

被災地のひとつである仙台市は、僕がプロになるまでの5年間(12歳~17歳)を過ごした、サッカー選手として多くの貴重な経験をした思い出の地でもあり、少しでも復興のお役に立ちたいという思いから、ゲストコーチとして「JFA・キリン スマイルフィールド」に参加させていただいています。去る6月には、宮城県仙台市・白石市・福島県相馬市にある4つの小学校で3日間、ボールを使ったエクササイズやゲーム、サッカーなどを通じて、子どもたちとふれあうことができました。

まだまだ大変なことも多いと思いますが、サッカーのもつ力を信じて頑張してほしいと願っています。僕もこれからさらに大きなチャレンジをすることで、皆さんに夢と希望をもっていただけるよう力を尽くします。

子どもたちの
コメント



僕はサッカーを習っているのですが、
コーチに「君うまいね」と
言ってもらってとても嬉しかったです。
サッカーがもっと好きになりました。

勉強になったことは、
仲間と心をひとつにして
協力することです。

私はあまりサッカーが好きではなかったけれど、
授業(スマイルフィールド)を通じて
サッカーが好きになりました。
こんなに楽しい授業を受けたのは初めてでした。

みんなで協力することが
大切だと思いました。
今度何かをやる時は、
諦めないでやりたいです。

スマイルフィールドを通じて
サッカーの楽しさを知りました。
私たちに**力と笑顔**をくれて
ありがとうございました。



たくさんのお礼の手紙

とても楽しかったです。
また遊びにきてね。

お客様の多様なニーズに応える
魅力ある商品を提案しています。

麒麟ビール

“のどごしの良さ”に磨きのかかった
「麒麟のどごしく生」

嗜好の多様化や生活防衛意識の高まりなどを背景として期待の高まる新ジャンル市場において、麒麟ビール社は、2005年の発売以来、同ジャンル7年連続売上No.1^{*1}の圧倒的な販売数量を誇る「麒麟のどごしく生」をリニューアルしました。発売後、“うまさ”に磨きをかける挑戦を続けて5度目のリニューアルとなった今回、より爽快な味と香り、雑味の少ない後味を実現し、ゴクゴク飲める“のどごしの良さ”が一層際立つ味わいに仕上がりました。

※1 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2011年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

2012年5月上旬から順次切り替え



麒麟ビバレッジ

史上初! “特定保健用食品の
コーラ”を新発売

コーラ系飲料市場調査(当社調べ)の結果、有糖コーラ系飲用層は10代中心、ゼロコーラ系は大学生以上の年代で飲用が増加しており、なかでも30代以上の男性は健康への意識が向上し、特定保健用食品の飲用率が増加していることがわかりました。そこで麒麟ビバレッジ社は脂分の多い食べ物とも相性のいいコーラ系飲料に着目。難消化性デキストリン(水溶性食物繊維)によって食事の際に脂肪の吸収を抑える、特定保健用食品史上初のコーラ系飲料「麒麟メッツコーラ」を開発しました。糖類ゼロでありながら刺激と爽快感はコーラ系飲料ならではの味わいに、コーラ系飲料のユーザーのみならず健康意識の高い大人層からも圧倒的な支持をいただき、発売後2ヶ月で200万ケースを突破。年間販売目標を当初の100万ケースから600万ケースに上方修正しました(2012年7月3日時点)。

2012年4月24日発売



メルシャン

「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」が 6年連続シェアNo.1^{※2}を獲得

同ワインシリーズは、酸化防止剤を使用しないブドウ本来の自然な香りと味わいが楽しめることに加え、テイストや容器など豊富なラインアップでお客様の多様なニーズにお応えし、2006年から6年連続シェアNo.1を獲得しました。2012年度の販売も好調に推移しています。

※2 酸化防止剤無添加ワイン ブランド別シェアランキング
CSA商品研究チーム調べ TOPNAVI-NETより算出 期間/
2006年4月～2012年3月 チェーンストアエイジ2012年6月
15日号掲載



協和発酵キリン

独自の技術を応用した抗体医薬品 「ポテリジオ[®]点滴静注20mg」を発売

2012年5月に発売した「ポテリジオ[®]点滴静注20mg」は、再発または難治性のCCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)^{※3}の治療薬です。協和発酵キリン社がもつ独自の強活性抗体作製技術「POTELLIGENT[®](ポテリジェント)」^{※4}を応用した抗体医薬として、世界で初めて医薬品製造販売承認を取得しました。



※3 リンパ球のひとつであるT細胞にヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)が感染してがん化する病気。一般的に複数の薬剤を併用する化学療法が行われるが、造血幹細胞移植以外に治療が期待される治療法が確立されていない

※4 協和発酵キリン社が独自に確立した高ADCC活性抗体作製技術

海外グループ会社のご紹介



ライオン

ブランドポートフォリオの さらなる強化へ

ライオン社は、豪州市場において成長が続く輸入プレミアムビールカテゴリーの商品ポートフォリオ強化を目指し、「コロナ」、「ステラ・アルトワ」をはじめとするプレミアムブランドの販売権を取得しました。さらに、クラフトビール^{※5}の製造・販売を行うリトル・ワールド・ビバレッジ社を完全子会社化^{※6}する手続きについて同社取締役会と合意し、拡大するクラフトビール市場においてさらなる成長を目指しています。

※5 特定の地域で製造される地域ブランドのビール

※6 現在、ライオン社は同社の発行済株式総数の約36%を保有



スキンカリオール

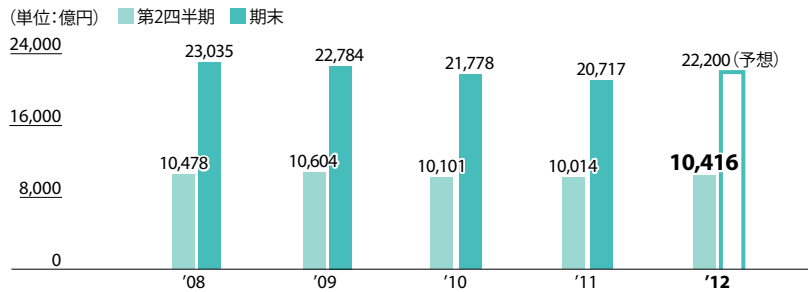
成長著しい ブラジル北東部での基盤を強化

ブラジルビール市場で第2位のシェアをもつスキンカリオール社。その基盤ブランドである「ノヴァ・スキン」は、豊かな香りとバランスの取れた苦みなどの優れた特徴を備えたピルスナータイプ(アメリカンラガースタイル)のビールで、2003年の発売以来、お客様から高い支持を得ています。さらに、6月には新商品「スキン・ノ・グラウ」を発売し、成長著しいブラジル北東部での基盤を強化しました。

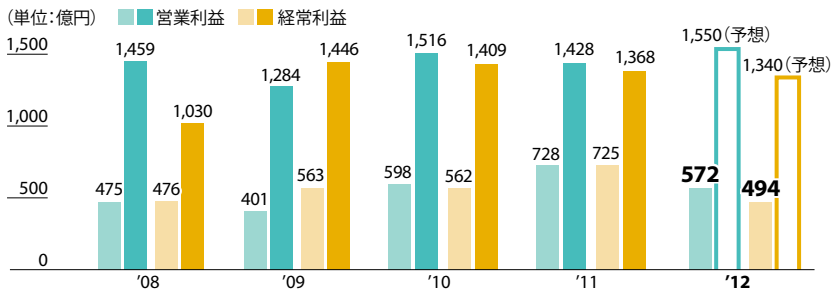


当期の財務ハイライト

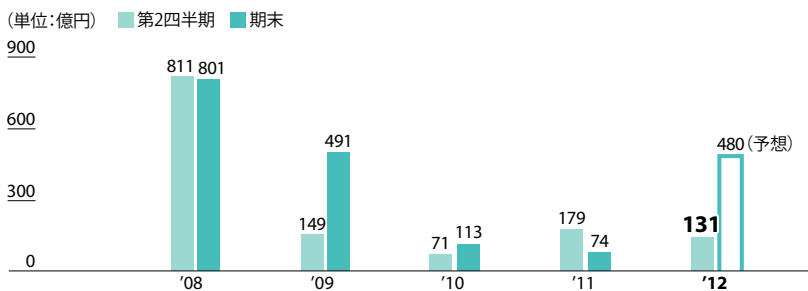
連結売上高



連結営業利益・連結経常利益

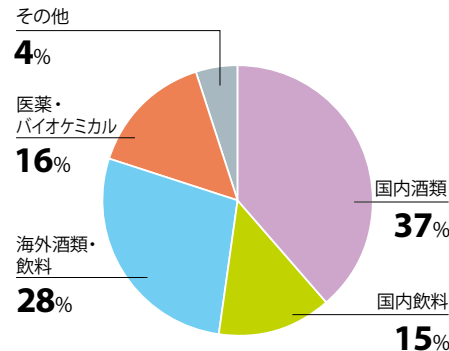


連結四半期(当期)純利益



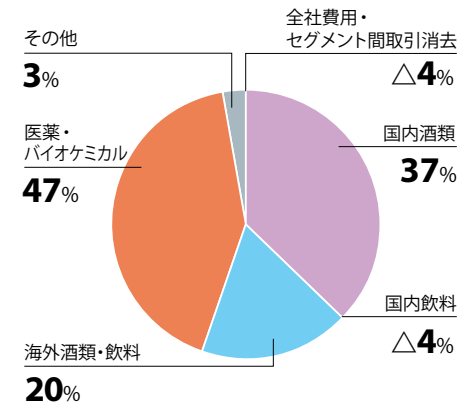
セグメント別の状況

セグメント別売上高



※ 2012年第2四半期の実績

セグメント別営業利益



※ 2012年第2四半期の実績

(単位:億円) ■ 売上高 ■ 営業利益

年次	売上高	営業利益
'10	4,191	223
'11	3,923	288
'12 (予想)	3,886	214

売上高 **3,886**億円
前年同期比 △0.9%

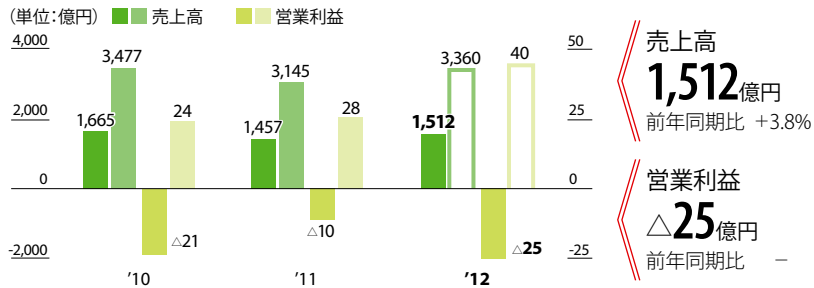
営業利益 **214**億円
前年同期比 △25.9%

国内酒類事業

ビールで新たなお客様価値の創造を実現、ワインの販売も好調に推移

キリンビール社では、定番商品のさらなる強化に加え、新食感の生ビール「一番搾りフローズン(生)」の発売や、新ジャンルの人気商品「キリン のどごし(生)」のリニューアル、RTDでは「キリンチューハイ氷結」の季節限定商品の発売などによるブランド強化を図りました。これらの取り組みにより、新ジャンルとRTDの販売数量は前年を上回りましたが、需要喚起に向けた競争が厳しくなるなか、ビール・発泡酒・新ジャンル合計、およびノンアルコール・ビールテイスト飲料の販売数量は前年を下回りました。一方、メルシャン社はワイン市場の拡大を背景に販売が好調に推移し、国産・輸入とも前年を上回りました。

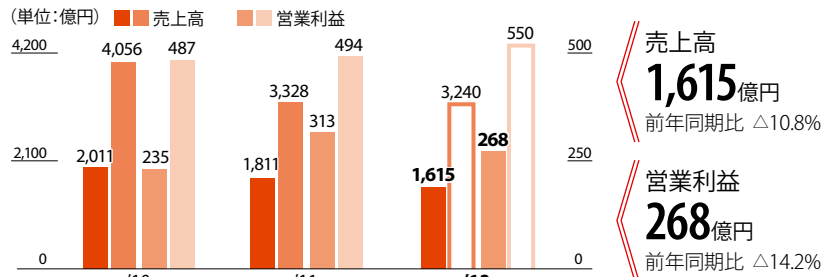
これらの結果、売上高は減少し、東日本大震災の影響があった前年と比べ販売費が増加したことにより営業利益も減少しました。



炭酸飲料新商品や水の好調を背景に前年を上回る販売を実現

キリンビバレッジ社では、新たな炭酸飲料領域の創造を目指した新商品「キリンの泡」に加え、特定保健用食品では史上初となるコーラ系飲料「キリン メッツ コーラ」を発売し、発売後2ヶ月で当初の年間計画の2倍にあたる200万ケースを販売しました。また、東日本大震災以降の水の需要拡大もあり、「キリン アルカリイオンの水」の販売も好調だったことから、国内の飲料販売数量は前年を上回りました。

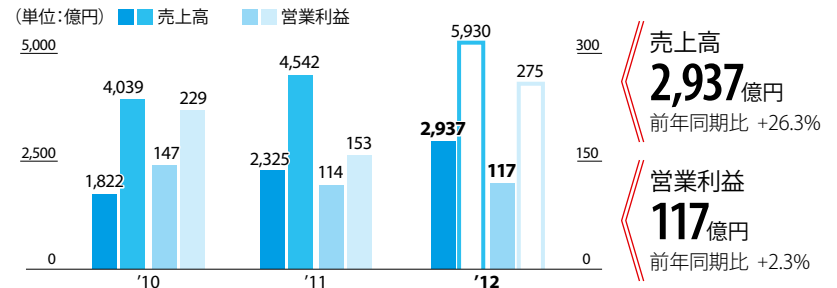
これらの結果、売上高は増加しましたが、東日本大震災の影響があった前年と比べ販売費が増加したことなどにより営業損失は増加しました。



主力医薬品の販売好調、初の抗体医薬品を発売

医療用医薬品では、協和発酵キリン社の主力製品である腎性貧血治療剤「ネスブ」などの販売が好調だったものの、4月の薬価引き下げの影響を受けました。研究開発成果としては、協和発酵キリン社初の抗体医薬品となる成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)治療剤「ポテリジオ」の承認を3月に取得し、5月に販売を開始しました。バイオケミカル事業では、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料の海外での需要が引き続き旺盛なものの、欧州信用不安による円高ユーロ安の影響を受けました。

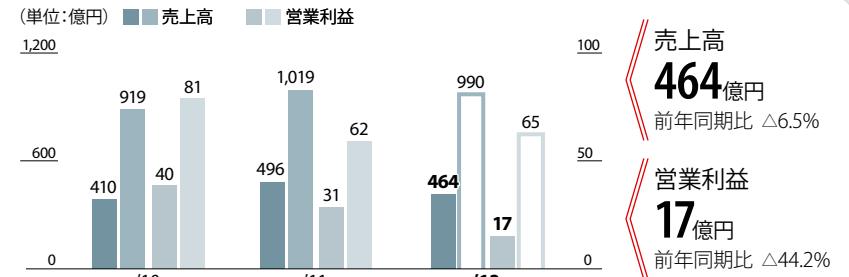
これらの結果及び前年3月末に化学品事業を連結から除外した影響などにより、売上高、営業利益ともに減少しました。



主力ブランドを中心に酒類の販売が好調に推移

豪州ライオン社の酒類事業は、主力ブランドである「フォーエックス・ゴールド」やクラフトビールの「ジェームス・スクワエア」を中心に好調に推移し、販売数量は前年を上回りました。同社の飲料事業は、販売数量が前年を下回ったものの、乳飲料やスペシャリティチーズなどの高付加価値商品の販売は好調でした。一方、ブラジルのスキンカリオール社では、主力ブランドのビール「ノヴァ・スキン」や炭酸飲料「スキン」を中心に好調に推移し、酒類・飲料とも販売数量は前年を上回りました。

これらの結果、売上高、営業利益ともに増加しました。



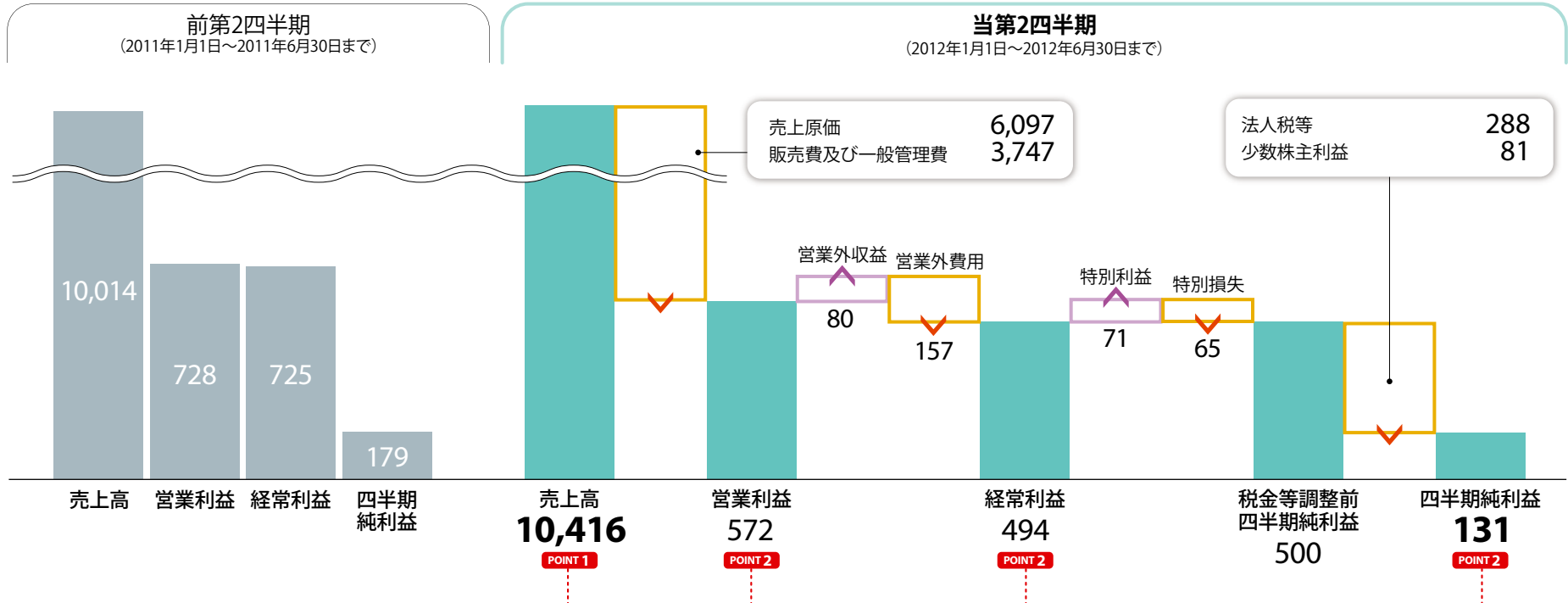
主力の加工用事業の売上が減少、中食・外食用事業は堅調

キリン協和フーズ社では、主力の加工用事業において、市場全般の低迷に加え、うまみ調味料をはじめとする主要品目における競争環境が激化したことから売上高が減少しました。一方で中食・外食用事業は堅調に推移しました。

これらの結果、売上高、営業利益ともに減少しました。

連結損益計算書の概要

(単位:億円)



(単位:億円)

前期 (2011年1月1日~2011年12月31日まで)	
売上高	20,717
営業利益	1,428
経常利益	1,368
当期純利益	74

POINT 1 売上高

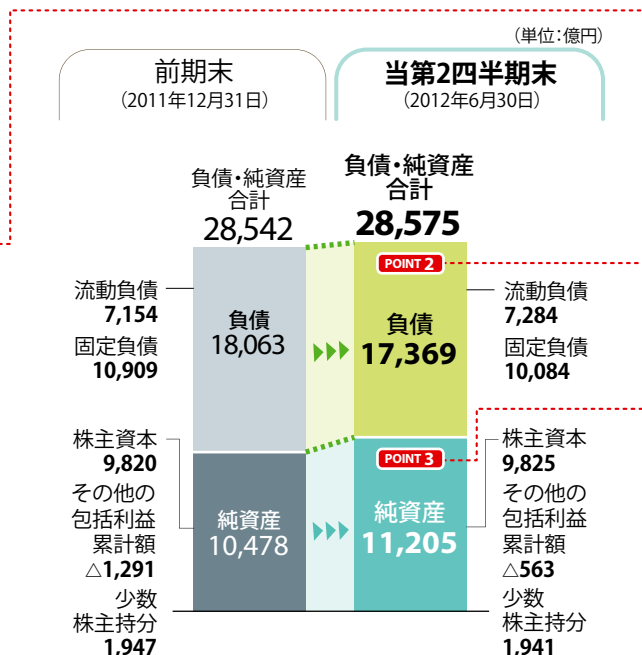
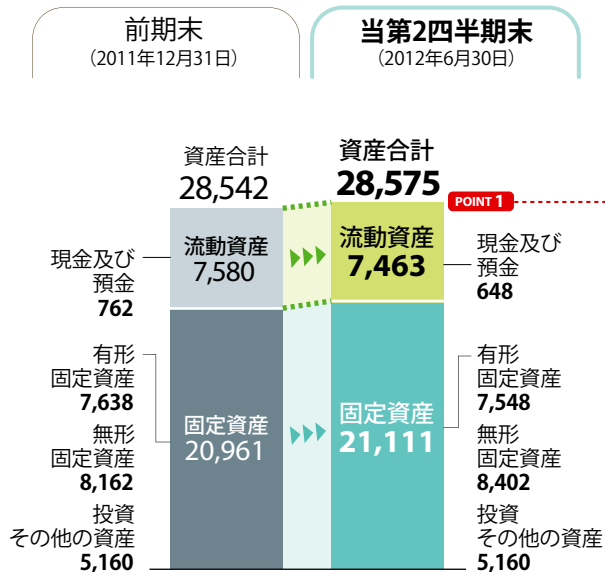
主に海外酒類・飲料事業でスキンカリオール社の損益を取り込んだことなどにより増加しました。

POINT 2 営業利益・経常利益・四半期純利益

国内酒類事業や国内飲料事業において東日本大震災の影響があった前年と比べ販売費が増加したことや、医薬・バイオケミカル事業で化学品事業が連結除外となったことなどにより減少しました。

連結貸借対照表の概要

(単位:億円)



POINT 1 資産

主に在外子会社の為替影響による無形固定資産の増加により32億円増加しました。

POINT 2 負債

主に有利子負債の返済や未払酒税の減少により693億円減少しました。

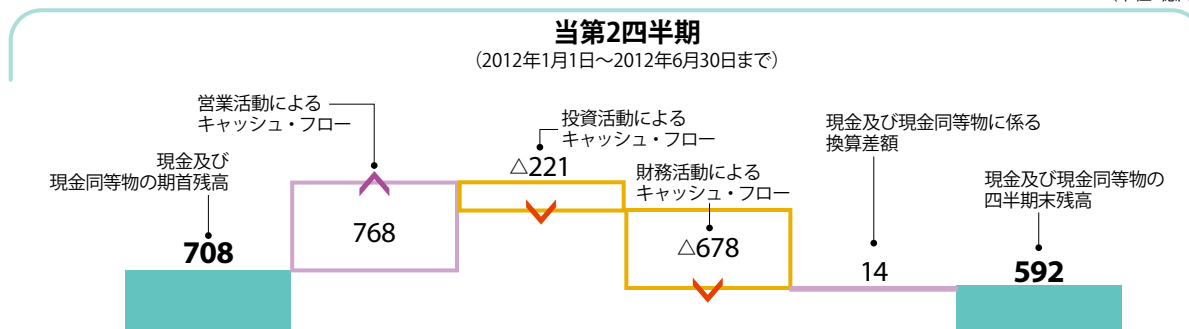
POINT 3 純資産

主に為替換算調整勘定の増加により726億円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

POINT

(単位:億円)



POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額の減少などの増加要因があったものの、税金等調整前四半期純利益の減少などにより768億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形及び無形固定資産の取得により、221億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済やコマーシャル・ペーパーの減少などにより、678億円の支出となりました。

● **会社概要** (2012年6月30日現在)

商号	キリンホールディングス株式会社
設立	1907年(明治40年)2月23日 ※2007年7月1日純粋持株会社化に伴い、「麒麟麦酒株式会社」より商号変更
資本金	102,045,793,357円
従業員数	258人(キリンホールディングス連結従業員数:40,748人)
本社所在地	〒104-8288 東京都中央区新川二丁目10番1号 TEL 03 (5541) 5321 (代表)
売上高	2,071,774百万円(2011年12月期キリンホールディングス連結業績)
主な事業	グループの経営戦略・経営管理ならびに専門サービスの提供

● **役員** (2012年6月30日現在)

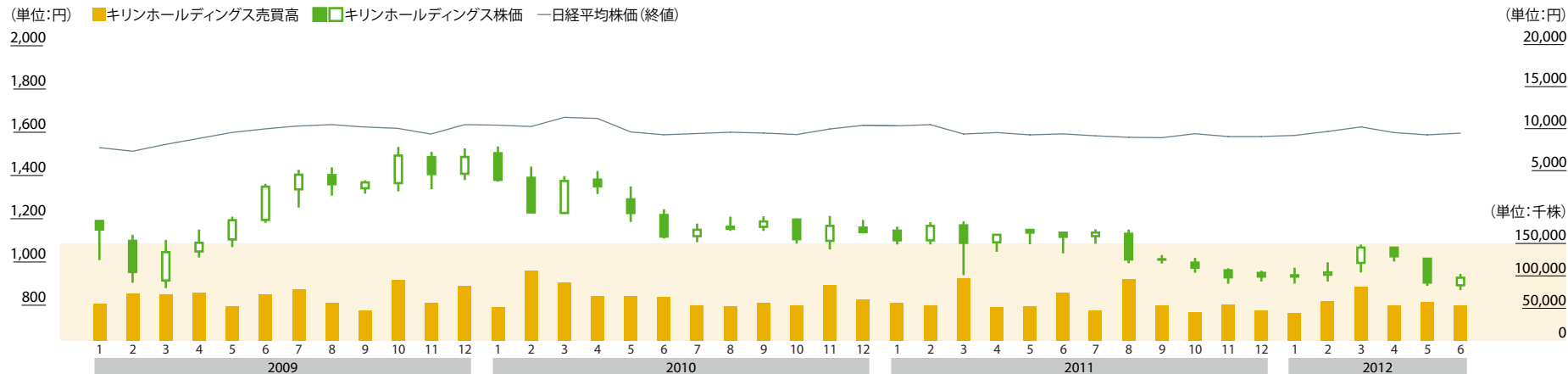
代表取締役社長	三宅 占二	常勤監査役	鈴木 一喜
代表取締役常務取締役	小林 弘武	常勤監査役	百武 直樹
代表取締役常務取締役	中島 肇	社外監査役	手塚 一男
常務取締役	小川 洋	社外監査役	大根田 伸行
常務取締役	橋本 誠一	社外監査役	岩田 喜美枝
取締役	鈴木 政士		
取締役	西村 慶介		
社外取締役	三木 繁光		
社外取締役	有馬 利男		

● **グループ会社一覧** (2012年6月30日現在)

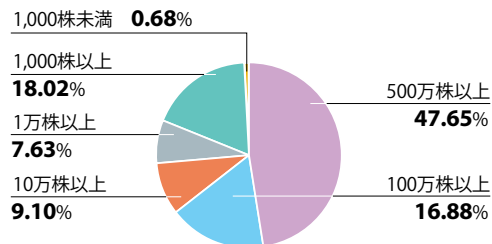


※ 持分法適用会社

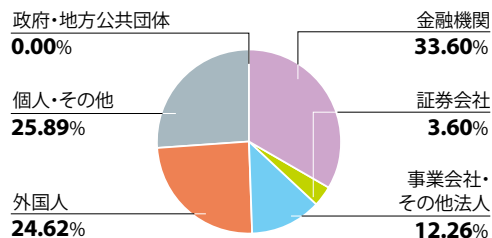
日経平均株価・株価・売買高の推移 (東京証券取引所)



所有株数別分布状況



所有者別分布状況



発行済株式総数 **965,000,000株**

株主数 **138,723名**

大株主 (千株未満を切り捨て、小数点以下第3位を切り捨て)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	48,988	5.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	46,710	4.84
明治安田生命保険相互会社	35,046	3.63
株式会社磯野商会	23,272	2.41
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	19,739	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	19,251	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	18,635	1.93
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	17,326	1.79
野村信託銀行株式会社(退職給付信託・三菱UFJ信託銀行口)	11,621	1.20
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	11,156	1.15

株主様ご優待について

1年に1回、12月末時点において単元株(1,000株)以上を保有する株主様にキリングループ商品等のご優待品をお贈りしています。詳細につきましては、キリンホールディングスのホームページ(www.kirinholdings.co.jp)、もしくは、毎年3月初旬に対象の株主様宛に送付される「定時株主総会招集ご通知」に優待申込書が同封されていますのでご確認ください。

株式に関するお手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (平日9:00-17:00)
<ul style="list-style-type: none"> ● 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問合せください。

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定※ 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (平日9:00-17:00) 手続き用紙のご請求方法 音声自動応答電話によるご請求 ☎ 0120-244-479 インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	

※ 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
株主確定日	定時株主総会・期末配当金12月31日 中間配当金6月30日
定時株主総会	3月下旬開催
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (平日9:00-17:00)
公告の方法	電子公告により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.kirinholdings.co.jp/
証券コード	2503

